

瀬戸の風

第19号

発行 : 放送大学 香川同窓会
発行責任者 : 会長 藤本芙佐子
編集 : 会報編集委員会
発行日 : 令和3年5月25日
同窓会員数 : 194名 (5月15日現在)



<目次>

- 1 目次
 - 2 「ピンチをチャンスへ」放送大学とともに
会長 藤本芙佐子
 - 3 ほうれん草のおひたし
香川学習センター 有馬 所長
 - 4 コロナ禍での学習
香川学習センター 枝川事務長
 - 5 令和3年度香川同窓会総会 提出議案投票結果のご報告
 - 6 令和3年度行事計画
 - 7 「日本語ボランティア活動から学んだこと」
同窓会員 佐々木洋子
 - 8 老骨ここにあり 我に続けの意気示す
副会長 宮北 薫
 - 9 大切に放送大学へ
前会長 関 義久
 - 10 若子さんご卒業おめでとうございます
会長 藤本芙佐子
 - 11 (寄稿) オンラインの「歴史サークル」に参加しませんか、また作りませんか。
学生団体ほうゆう会 日本近代史研究サークル 大西 良二
 - 12 (寄稿) 中央アジアの知られざる国
「タジキスタン I」(ワハン回廊のアフガン国境の村)
奥谷 義典
 - 13 会員皆さまの近況です
各 会 員
 - 14 同窓会からのお知らせ
「アカデミックガウン着用、記念写真撮影会の案内」
地区交流会「タブレット講習会」、「放送大学へのいざない」、「HP」、他 事務局
 - 15 新入会員のご紹介、役員紹介、編集後記
副会長 宮北 薫
- *7~9 令和2年度地区交流会講演内容報告。



ピンチをチャンスへ 【 放送大学と共に！】

会長 藤本芙佐子

放送大学・香川同窓会の皆様におかれましては、恙無くお過ごしのことと拝察いたします。

昨年から今年へと新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れ、お気遣い大変お疲れ様です。

このような日々、懸命に医療現場などでその対応に従事されているエッセンシャルワーカーの皆様には心から敬意と感謝を申し上げます。

私たちの香川学習センターも一時閉所となりました。その後徐々に緩和されましたが、センターは静かなままで、また大勢の方々に賑わう日を待っています。

コロナ禍の為に学習方法は変化しました。通信指導はすべて Web。単位認定試験は自宅の PC またはコンビニで問題をプリントアウトして、回答を郵送するという従来に無い方法となりました。

しかし、考え次第でこのピンチはチャンスに変えられるとも思われます。ピンチは個人のみならず、国家、ひいては地球全体に降りかかり、生活方法まで考慮する毎日になっています。

元来、放送大学はオンラインシステムを実行しており、コロナ禍でなくともリモートアクセスにより自主学習に取り組んでいる人は多いと思います。

現在、コロナワクチン接種が始まっていますが、アフターコロナ対処を確実にし、元気でポジティブ思考で前進しなければと思います。

かつてのスペイン風邪、また大きな危機として二度のオイルショックがありました。徹底した管理、一層の技術革新などで乗り越えてきました。目視不能なウイルスと同じ扱いは難もありますが、人間本来どのような逆境にも負けず、知恵と創意工夫・気力で乗り切る潜在能力をもっていると信じたいです。

皆様、冬は去ります。どうぞ楽しい日々をお過ごしなされます様お祈り申し上げます。挨拶といたします。

以上

ほうれん草のおひたし

香川学習センター所長
有馬 道久

「ほう・れん・そう（報連相）」は、職場や組織において、主に上司と部下の間で情報共有や問題解決を図るための合言葉ですが、それがうまくいっている所とそうでない所がありそうです。何が違うのでしょうか。経験的には、報連相がしや

すいかどうか、しがいがあるかどうかの違いだと思います。

報連相がしやすい、さらには、しがいがあると思ってもらうには、「ほう・れん・そう」に「お・ひ・た・し」で返す「ほうれんそうのおひたし」が有効だということを最近知りました。

最初の「お」は「怒らない」の「お」だそうです。上司は報連相の内容が気に入らないとき、イライラしたり、怒りの気持ちが湧いたりするものです。その感情をそのまま部下にぶつけるのが「怒る」という行為です。怒られた部下は、「いやだなあ、早

く終わらないかなあ」とか「報連相しなきゃよかった」と思うのが落ちです。つぎからは、怒られない無難な報連相をするようになるでしょう。「怒らない」ことは部下との信頼関係を築き、報連相をしやすくする第一歩だと言えます。ただし、部下の態度や取り組み方が悪いときは、「怒る」のではなく、言い方を考えながら、目的をもって「叱る」ことは必要です。

つぎの「ひ」は「否定しない」の「ひ」です。部下の意見を否定したり却下したりしなければならないときもありますが、その場合でも、頭から否定せず、まずは部下の意見を聞き、その良さを認めたくて否定する姿勢が大切になります。いわゆる、イエス・バット法です。

3つめの「た」は「助ける」の「た」です。困っている部下を助けるのは自然なことですし、それで問題が解決できれば、「報連相してよかった」と思ってくれるでしょう。しかし、タイミングや助け方によっては部下の成長を妨げてしまうこともあるので注意が必要です。すぐに手を貸すのではなく、まずは部下の主体性を尊重し、サポートから始めるのが大切なようです。



コロナ禍での学習

香川学習センター
事務長 枝川幸司

みなさまお元気でお過ごしでしょうか。昨年頃から続く新型コロナウイルス感染症ですが、一時は収束しかかったかに見えましたが緊急事態宣言の実施、まん延防止等重点措置の発出など第4波の危機が迫っています。

最後の「し」は「指示する」の「し」です。報連相をしても、上司から返答がなかったり、曖昧な指示ばかりだったら、部下は不満を感じるでしょう。逆に、いつも細かな指示が返ってきたら、部下は「指示待ち」になるかもしれません。そうならないように、まずは自分で考える部下に育てること、そして、ここぞという時に的確な指示が出せる上司になりたいものです。

私自身はというと、「お・ひ・た・し」はまだまだです。例えば、15年ほど前、卒論ゼミの学生から、「先生は僕のアイデアをいつも否定するから、もう指導してもらわなくていいです。」と言われた苦い思い出があります。私はその学生の幹となるアイデアを活かすために、枝の部分を考え直すよう促したつもりでしたが、その学生は「いつも否定された」と受け取ったようです。それ以来、まずは相手の意見の良さを認めようと努めていますが、まだまだ不十分です。

今後は、「報連相のしがいい」につながる「助ける・指示する」は無理でも、せめて「報連相のしやすさ」につながる「怒らない・否定しない」はできるようになりたいと思うこの頃です。



まずは、ご家庭でも、職場でも、放送大学学習センターでも徹底した感染対策(3密の回避、マスク、手洗い、うがいの励行等々の『with コロナ』対策)を講じて健康な毎日をお送りください。

そのような中ですが放送大学香川学習センターでは可能な限り開所、開講できる学習環境を提供しようと対策を講じています。少し紹介させていただき、皆様にご理解とご協力をよろしく願いいたします。

(1) 来訪時の検温や手指消毒の実施

7階ロビー前、講義室前に非接触型体温



計を配置して
います。

発熱のあ
る方、体調
のすぐれ
ない方は入

所をご遠慮願っています。

(2) 施設設備の消毒の実施



朝夕に
は図書・再
視聴室、ロ
ビーの椅子
・机、多
目的室の
椅子・机

等を消毒し、面施授業終了後には机や椅子の消毒を実施しています。また、再視聴室で使用されたヘッドホン等の機器は紫外線消毒しています。

(3) ソーシャルディスタンスの確保

席の間隔が開くよう机及び椅子の間隔を広げて受講生間距離を確保しています。

(4) 飛沫防止パネルの設置

講師の演台や窓口などどうしても会話が必要な場所には飛沫防止パネルを設置しています。



(5) 換気の励行

講義室、図書・再視聴室、ロビー、廊下は窓を開け、かつ換気扇を付けて常に換気しています。

少し寒い(暑い)時もありますがご協力をお願いします。

(6) 加湿

乾燥が進むと飛沫の飛散距離が増加するといえます。加湿器を各教室に配置し加湿に努めています。

また、サークルの方々にも、サークル活動時には、マスクの着用、換気、3密の回避、2時間以内の使用制限、参加者の記録、使用後の消毒をお願いし、協力いただいています。

各自治体ではワクチンの接種も始まりました。一日も早く以前の生活を取り戻したいところですが、今は、自分たちが『うつらない うつさない』ことに心掛け、みんなが集い学習できる環境を期待して待ちましょう



放送大学香川同窓会セミナーのご案内



開催日 令和3年9月11日(土) 13:30~15:00

場所 放送大学香川学習センター 8階会議室

定員 50名 申し込み不要 直接会場へ

講師 香川同窓会 奥谷 義典

インドに仏教経典を求めて西域を旅した4世紀の法顕や7世紀中ごろの玄奘三蔵の十数年をかけた厳しい砂漠やパミール越えの足跡を訪ねます。特に中央アジアや当時の北インドの足跡を中心にお話しします。



令和3年度 香川同窓会総会

提出議案（郵送・電子メール）投票結果のご報告

香川同窓会事務局

令和3年度香川同窓会総会は、「新型コロナウイルス」の影響により会員出席の総会開催ができないため、全会員あて各議案を4月18日郵送並びに電子メール送信し、投票期間4月30日の間迄に、各議案の審議賛否の投票をお願いいたしました。投票結果を下記の通りご報告いたします。

記

1. 投票総数 92名（投票率 49.5%）
会則第12条にある議決権の3分1以上を満たしております。
2. 各議案ごとの賛成・反対（未回答を含む）は下記のとおりです。

一号議案	賛成 92名（100%）	反対 0名（0%）
二号議案	賛成 92名（100%）	反対 0名（0%）
三号議案	賛成 92名（100%）	反対 0名（0%）
四号議案	賛成 92名（100%）	反対 0名（0%）

上記の結果、各議案は原案通り承認可決されました。
3. 各議案の詳細につきましては、すでにご送付済みの為、令和3年度活動計画を除き、この会報には掲載していませんのでご了承下さい。

一号議案	令和2年度活動報告 令和3年度活動計画（別紙 参照）
二号議案	令和2年度会計報告並びに監査報告 令和3年度予算
三号議案	新任役員及び再任役員
四号議案	香川同窓会会則一部改定

以上

香川同窓会 令和3年度活動計画

行事名	日時		場所	対象	予算	担当役員	内容
総会 第19号会報発行 会員名簿発行				同窓会員			「新型コロナウイルス」の影響により「書面総会」と致します。 * 会報・会員名簿は、5/末発行の予定です。
卒業・修了生祝賀茶話会	9/26(日) 3/28(日)	11時～11時30分	学習センター 実験室	卒業生・修了生 同窓会員 在校生 学習センター		藤本・宮地・寶田 後藤	① 卒業・修了生学位記授与式は10時開始。 ② 既卒の方で「アカデミックガウン着用」記念写真撮影をご希望の方は、同窓会事務局へお申し込み下さい。 後日、詳細をお知らせします。 ③ 茶話会での会食や抹茶提供は「コロナ」の動向により行うかどうかの判断となります。
地区交流会	6/26(土)	東かがわ:東かがわ市交流プラザ		同窓会員 在校生 一般市民		岡部 寶田・高木 関 宮北	公開講演会 (13:30～15:00) 地区交流会 (15:20～16:30)
	10/17(日)	丸亀:丸亀市飯山総合学習センター					① 学習センター主催の公開講演会は、丸亀、東かがわ、観音寺開催、そのあとに同窓会主催の交流会を行います。
	10/30(土)	観音寺:観音寺市中央図書館					② タブレットを使用した、学習方法や画像編集など、端末を使用しながらの勉強会を、10月以降、東かがわ、高松、丸亀、観音寺にて実施する予定です。 日時・場所・内容及び申込等については、各地区交流会においてご案内します。
	9/11(土)	高松:香川学習センター					
講演会	9/11(土)	13時30分～15時	学習センター 会議室	同窓会員 在学生 一般市民			「 仏はパミールを越えて 」講師 奥谷義典氏 講演会終了後(15:20～16:30)高松地区交流会を、同会場にて行います。
卒業研究ガイダンス 発表会	6/13(日)	10時30分～12時	学習センター 小講義室	同窓会員 在学生			① ガイダンス(概要説明及び個人相談) 有馬香川学習センター所長 ② 卒業研究発表 佐藤みか
研修旅行「島ネット」	未定		小手島or手島	同窓会員 在学生 一般市民		奥谷	新型コロナの状況により、実施するかどうか決める予定です。
公開講演会 (香川学習センター主催)	6/5(土)	土庄町:土庄町立中央公民館		一般市民 同窓会員 在校生			「小豆島のジオと自然と人間生活」講師 山口晴司 (富山大学名誉教授)
	6/26(土)	東かがわ:東かがわ市交流プラザ					「大規模災害におけるメンタルヘルス:その予防と対策」講師 野口修司 (香川大学医学部准教授)
	10/17(日)	丸亀:丸亀市飯山総合学習センター					「サヌカイトとの旅」講師 前田宗一 (香川県資源研究所理事長)
	10/30(土)	観音寺:観音寺市中央図書館					「ことばが生まれるとき」講師 山本精一 (前基督教独立学園高等学校校長)
サンクリスタル公開講演会 (香川学習センター主催)	6/13(日)	高松市中央図書館 (サンクリスタル高松)		一般市民 同窓会員 在校生			「遠隔医療とドローンの導入について～高齢者が安全安心に住める町作りのために～」講師 原 量宏 (香川大学特任教授)
	10/2(土)						「自給自足と共同生活を通して」講師 野田大燈 (喝破道場理事長)
	11/14(日)						「瀬戸内海の環境」講師 多田邦尚 (香川大学農学部教授)
香川SC創立30周年記念	未定	香川学習センター					公開講演会(未定) ① 式典 ② 講演会 ③ 祝賀会(大会会館ソラミ予定)
役員会		隔月				事務局	事務局会議(毎月)
連合会総会			千葉	会長			4/4、「コロナ」の影響でインターネットを利用した総会となりました。
中国四国地区放送大学 同窓会交流会	未定		(鳥取)				

香川同窓会・地区交流会
(東かがわ交流プラザ)

「日本語ボランティア活動から

学んだこと」

令和2年10月3日(土)
講師 佐々木 洋子 先生

「外国人に日本語を教える市民活動家」というと少々お堅いお人柄を想像されますが、佐々木先生は「多様な人との交流を楽しむ」にこやかなお方。



“多様な文化共生”が大切といわれます。「国籍や民族の異なる

人々がお互いに知り合い、それらの文化の違いを認め合い、対等な関係を築くのが目的です」といわれます。「地域社会の構成員」(※)として共に生きていくことが大切です。

1995年、アイパル香川で日本語ボランティアの養成講座に参加。一緒に学んだ受講生仲間たちと日本語指導サークル「わの会」を高松市内に結成し、ご自身もスタートしました。

放送大学へ入学し、“外国人向け日本語の授業”を受講してご自分の学力を付けました。

佐々木先生ご自身は北海道・斜里町(知床岬の入り口)のご出身と聞き驚きました。冬には氷が押し寄せて、氷上ウォークが可能です。ご縁のあったご主人と白鳥町(現在・東かがわ市)に住み初めのころ、同じ日本語なのに「なんで理解不明なのか」。文字で書けば大体同じでも話し言葉はサヌキ弁。イントネーションが大きく異なっていました。(現在は少々緩和されました)

「人材について述べます」日本では介護士、技能実習生が不足しています。

技能実習制度 外国人が日本で働きながら

技術を習得することにより、社会貢献をする制度。(最大5年)介護は2017年に組み込まれた。

EPA(経済連携協定)国家間の協定により物流、ヒトの交流を図る。看護、介護人材の受け入れはインドネシア2008年、フィリピン2009年、ベトナム2014年から開始。

佐々木先生が教えるときのお気持ちはヒト言「やさしい日本語」で。

「やさしい日本語」は災害発生時に日本語が不慣れな外国人に素早く、適格に情報を伝えられる。「やさしい日本語」は短く言う。日本人は言葉に語尾がないことがよくある。

「はっきり最後まで言う」敬語は使わず、「です・ます」で対応する。

現在、佐々木先生は東かがわで活躍されて、市内には①ベトナム ②中国 ③フィリッピ



ンなどの技能実習生が約270人在籍している。「いつも楽しそうに教えていますね。」といわれるとうれしい。それが頑張る力になると微笑まれました。

外国人に気を配り、関連のシンポジウムなどにも参加する。今からの人不足を背景に今後外国人の増加が予想されます。それぞれのアイデンティティを大切に心掛けていると申されます。

(※)2006 3月 総務省 多文化共生推進プログラムより)

以上

老骨ここにあり

我に続けの意気示す

宮北 薫



スクリーンに映しだされた、「私の海外語学留学記」を説明し始めた。画面の写真にはどれにも、私の思い出が詰まっていて、語れば尽きせぬものがある。しかし、与えられた時間は30分というからのそのうちでも特に強く印象に残り、是非言っておかなければならないと思うものを選び重点的に説明をした。

韓国の大学のキャンパスは日本のものとは比較にならないほど広いこと、学生は原則として学内の宿舎に共同して暮らしていることなどを話した。実際、夏休み、冬休みで、学生が帰省した後の部屋に我々が泊まっていた。韓国人は初対面の者でも二人並んで写真に写るときには親しそうに肩に手をかけたり、腕を組んだりすることを話せば皆一様に驚いていた。列車の中に自転車を乗せること、列車内で物売りが商品の説明をしながら堂々と商売をしていることも、話せば日本ではあり得ない事だと言っていた。劇を見る人は、舞台上での演技とシンクロして、手をたたいたり、口笛を鳴らしたり、声援を送るなどノリが全く日本の観客とは違うことも私自身が驚いたことだと正直な感想を述べた。

フィリピンでもカナダでも、教室での英会話に必要な単語も文法もほとんどは中学校で習ったもので、遙か半世紀以上昔の記憶をたどりながらなんとか会話らしいものを紡ぎだして授業についていったと話した。ラテン系の国の人たちは発音もあまり良くなく基本的な文法の間違ひがあるにも関わらずとにかくよくしゃべっていた。やたらと細かい文法にこだわり、結局気後れして英語が話せない我々日本人は彼らを見習う必要があると感じたことも付け加えた。休み時間に垣間見る国民性の違いも面白い。私が

整えた机や椅子を、再度、きちんと並べなおしていたスイスからきた人のことは、本人の顔写真を見せながらこと細かく話した。しかつめらしい顔で修了証書を受けとる人など一人もない、あの陽気でお祭り騒ぎの修了式のことも是非言っておきたかった。ここぞとばかり手振り身振りの実演を交えて話をした。

日本ではできない、ピストルやライフルを撃ってきたことも、雄大なロッキー山脈を横断した3泊4日の旅行のことも、語りつくすことができない。響き渡る銃声、火薬のにおい、冴々として続く雄大な山塊、道端で悠然と草を食む大きな熊、岩肌をなめているトナカイやムース。氷河の上を歩いたことや、落差が100メートルもある滝、エメラルドグリーン湖、今なお写真を見るたびに湧き上がる感懐を言葉に表す才覚のなさを痛感したものだ。

最後に、後期高齢者になろうとする私がこうした一連の海外語学留学ができたのは、放送大学で学んでいて学友から元気をもらっているからこそできたことだと、感謝の言葉を述べて掉尾を飾った。

追記 この講演の後、私の拙い話に意外なほど多くの人からお褒めの言葉をかけていただいた。その都度、あの講演会での資料をパワーポイントに纏めることができたのは、学友のご懇



篤なる指導があつてのことだと感謝の意を表しておいた。

私の取り留めもない話を聞いて、是非自分も外国へ語学研修を受けに行きたい、私も放送大学に入学したいと言っていた人がいたとも聞いている。そうであれば、放送大学を宣伝するためのこの企画の初期の目的が一応達せられたものであり、そうした機会を与えてくれた同窓会役員一同に対して感謝の念は一層増すものがある。

以上

令和2年11月7日

大切な＜放送大学＞

講師 関 義久 先生
会場 観音寺市立中央図書館
(公開講演会と同窓会交流会)

私の放送大学の入学動機、勤務していた郵便業務などについてお話したいと思います。放送大学について一番に述べたい事項は、自分の希望に合わせてコースを選べることです。

学問の進路、専門に深めたいコースが必ずあり、それに決められる、これは重要です。自分の立場、仕事に関する内容を深めることができるのはこの上ない喜びだと感じます。

私が放送大学へ入学の動機は「大卒資格を取りたい」！！それは「社会保険労務士」など有力な国家資格を取るためには、受験資格として大卒以上となっているものもあり、その受験資格をまずは得るために「よし！頑張ろう」また「大学で学んだことを仕事に活かそう」と自分ながら考えたからです。

「自宅で自由に学べる」が決め手となり、数ある通信制大学から放送大学を選びました。

勤務は郵便局の内務職員で、多度津局の勤務をはじめに、数局への転勤を重ね、いま9局目です。誰もが承知のように郵便局の組織も大きく変遷がありました。何よりの変化は初採用時には郵政省でしたが、平成13年1月から日本郵政(株)総務省外局の郵政事業庁。平成15年4月から日本郵政公社、また平成19年10月から日本郵政(株)及びその下に発足する郵便局(株)、郵貯銀行、かん

ぽ生命の4つの会社に分断され、赤字経営の郵便の為吸収や称号を変更もありました。

放送大学での苦労は勤務している人なら良く理解できることですが、仕事と勉強を両立させることでした。「社会と経済」コースを専攻し、4年で卒業する計画をたて、”放送授業””面接授業”を割り充てて、平均的に受講を考えました。レポート提出、面接授業への出席、定期試験の対策に追われ、常時試験内容から単位習得状況を意識していました。

そんな気持ちの面接授業では、香川大学・広島大学・愛媛大学・高知大学・徳島大学で学びました。皆さん仲良くしてくれました。放送授業では有名大学・一流教授に教えを乞うこともでき、結果頑張りの功もあり、4年で卒業でき、人生も大きく前進しました。勤務の面では仕事への貢献度(営業成績)など真面目に放送大学で学んでいる点を評価していただき、当時の所属長より特別昇給をいただき、これが何よりうれしかったことです。

その後、香川同窓会へ入会し、会計・監査・会長も歴任し、会員の方々との交流を深めています。全国の会長会へ出席し、多くの知り合いもでき、これも私の宝ものです。

香川同窓会の自慢行事のうち、全国に誇れる行事の「島ネット」を実行中です。香川県の沖合には有人の島が24島あり、毎年1島ずつ訪問して、島の方と交流します。

放送大学入学時、2歳であった長男も令和3年大学卒業。日々はすぐに過ぎます。

＜コロナ禍なんかぶっ飛ばせ！！＞
と・皆さんと元気に歩みます。

以上

室崎若子さん

ご卒業おめでとうございます

藤本 英佐子



“令和2年9月27日 14年かけた放送大学の卒業式です。

室崎 若子さん ご卒業おめでとうございます！ お祝い申し上げます。”卒業式の当日、香川学習センターはテレビ3局、新聞3社の取材がありました。また、ほかの卒業生や来賓など大勢いて大賑わいでした。そのような中、盲導犬「タビラ君」は、静かに落ちついて「お仕事」をしていたことに感心いたしました。

当日の様子は、新聞やテレビで大々的に取り上げられて、何人もの方が喜んでくれてとても嬉しく思いました。なお、卒業生の皆様には記念品（東かがわ市のお品）を同窓会からお渡しいたしました。

初めて若子さんのお姿を拝見したのは学習センターのカウンターのガラス越しでした。徳田先生が読み上げる文章を、素晴らしい指さばきでタイピングされていた姿に思わず見とれてしまいました。その数日後、面接授業があり、私の前席にタイピングをしていた若さんがいました。「先日のタイプは今日の“予習”だったのだな。」と理解しました。

“予習”を拝見したのは一度きりですが、その後の面接授業でも若さんの後席につき、若さんの学習に対する心構えを感じ取ろうと努めました。

山崎敏範先生がセンター長のときに、若さんが奨学生の推薦を受けられました。大勢の前で礼儀正しくお受けされていたことも大変印象深く心に残っています。

令和2年10月11日（日）に学習センターで、「障害があるとはどういうことなのだろうか」（香川大学教育学部坂井教授）という講演がありました。若さんも出席されており、一番前の座席で聞かれていました。講演後に感想を発表されましたが、その内容がまた素晴らしく、うれしくなりました。

先日、若さんにお会いしたくて小豆島へまいりました。若さんは、土庄港までお迎えに来られました。若さんは小豆島で有名らしく、4人の方から「室崎さん」と声掛け



をされていました。これまで若さんとの一緒にの写りがなかったので、記念に写真を撮りました。

若さんとのお話の中で、「自分の身の回りのことは自分で出来るように、お布団の上げ下ろし、洗濯など大抵のことは自分でできるようにと丁寧に指導、教育を受けた。」と伺いました。若さんの几帳面さは、ご本人の性格や努力はもとより、ご家族や学校の先生方など回りの方の支えが大きかったのだなあと感じました。一般家庭の子女は、小学生で洗濯をする子はほとんどいないでしょう。大人になっても親任せの人も多いかと思えます。

また、小豆島（土庄港）から高松へ10年余り勤務されたことも話していただきました。

若さんから「連絡はメールでしましょう」と言われました。家に帰って早速実行しました。若さんからは几帳面な文章で返信を頂きました。

今回の小豆島訪問では、土庄行き的高速艇の時間を教えていただき、港へのお迎え、帰りは浮棧橋まで送ってくださり、大変お世話になりました。

来年度の6月5日（土）には、土庄町立中央公民館で公開講演会が予定されています。私もぜひ参加し、若さんとの再会を楽しみにしているところです。

以上





オンライン歴史サークル

参加しませんか、また作りませんか

学生団体ほうゆう会

日本近代史研究サークル 大西良二

私たち**歴史サークル**はコロナ禍打開策として昨6月**スカイプ・オンライン**に移行しました。昨秋11月の文化祭発表大会は**福岡**と**横浜**の学友も参加して**オンライン**で開催しました。発表大会終了後、夕刻から大会の打ち上げ懇親会も**オンライン**でやりました。**オンライン会合**は、従来の会議室会合に比べて、以下のようなメリットがあります。

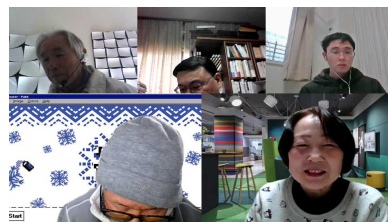
- 1, スカイプ・オンラインは**対面会合**で、**無料**、操作は簡単である。
- 2, 日時を決めて会合するとき、**自宅から参加**するので会議室の借用なし。
- 3, スカイプ会合は大学**登校**なし。時間と経費の節約。会合のレイアウト**設定**なし。
- 4, 会合の**録画**ができて**ショット写真**も自由。**チャット**で意見・質問などを伝える。
- 5, 発表では**画面共有**して自分の画面を参加者に見せて**レジュメ**も**動画**も説明できる。
- 6, 放送大学**OB**も、県内外の**身内友人知人**も、スカイプでサークル活動に参加できる。
- 7, スカイプの**プラットフォーム機能**で月例の会議室会合は**365日昼夜可能**になった。
- 8, 当日参加できなくても、あとで**録画**を視聴できる。**録画**は活動記録として利用できる。以上が、私が感じる主なメリットです。

オンライン会合は、隣にいる臨場感で、自分の都合で顔出し・マイクだけと**自由自在**、サークルの**インフラ**です。**オンライン・サークル**が定着した理由は、その**大きな利便性**です。コロナ禍においても、やりたいことができるのは、**自宅からのスカイプ・オンライン**です。**自宅から気ままスタイルで対面で無料**でできる。これを使わない手はないでしょう。

「**放送大学のOBの皆さん**、私たちは**オンライン歴史サークル**です。県内はもちろん、**都道府県を越えて**参加しませんか。また、そちらで、各地で、新しく**歴史サークル**を作りませんか。

OBの皆さんに訴えたいのは、ご自身のために、この**歴史サークル**にご参加いただきたい。また、皆さんに、興味ある分野で誘い合って**歴史サークル**を作っていただきたいのです。

各地に**歴史サークル**が立ち上がれば、いつの日か、全国的な**オンライン・サークル会合**を持てる。それは、学友がタコツボから出て、広く**交流し連帯し協同する啓発**しあう試みです。



その日に向けて、OBの皆さんに、私たちは**四国高松**から毎日発信していきたいと思います。



中央アジアの知られざる国

タジキスタン 1

(ワハン回廊のアフガン国境の村)

奥谷義典

中央アジアの国々についてはかつてソ連邦の一員であったこと、経済的な結びつきが薄いこと等で学校でもあまり教えられることがなく、報道で取り上げられることも殆どありません。そこで少しでも知っていただきたい思いもあり、旅行の感想も含めて紹介したいと思います。

・タジキスタンという国について

国名はタジキスタン共和国で首都はドゥシャンベです。政治的には大統領制で現在はエモマリ・ラフモン大統領です。宗教的にはイスラム教でスンナ派が大勢を占めます。ただソ連邦時代の影響もあり政教分離で宗教的な影響はあまり感じません。人口は2015年現在で8,352千人で東を中国、北側にキルギス、西側はウズベキスタン、南側はアフガニスタンに接しています。東半分はパミール高原であり北側は歴史上有名なフェルガーナ盆地を有しています。このフェルガーナはウズベク、キルギスなどの飛び地があり国境線は複雑で観光目的の入国は少し複雑です。西半分はソグディアナと呼ばれるソグド人の故郷でペンジケント等にはその遺跡が残っています。

・主要な歴史について

紀元前にはスキタイ、アケメネス朝ペルシャ、アレクサンダー大王遠征の影響を受けています。政治的な中心地はウズベキスタンのサマルカンドであり、その周辺としての影響をうけています。タジクが建国されたのは20世紀後半になってからのことです。イスラム化したのは8世紀からでそれまではゾロアスター教（祆教、拝火教ともいわれBC6世紀以前からの原イラン多神教）が主でした。玄奘三蔵の時代もゾロアスター教徒が多数

いたようです。

ペンジケント（旧名マーイムルグ、中国古典では米国という）のソグド人は漢、唐の時代にシルクロードの中心商人として交易に従事し、中国の歴史に大きな影響を与えました。唐の衰退を招いた安祿山の乱（安氏の乱）はウズベキスタンのブハラ（安国）出身ソグド系安氏による反乱です。

・タジキスタン旅行で見たもの、感じたこと

タジキスタンは交通インフラが十分ではありません。ソビエト連邦時代の軍事目的で整備されたインフラのみであり、それらも老朽化しています。空港も未整備で私の入国ルートはインチョン空港で乗り換えウズベキスタンのタシケントに行き、そこから陸路で入国しました。直接入国する手段はありません。鉄道もありますが一般的ではありません。入国して最初の都市はタジク第二の都市ホジャンドです。ここにはアレキサンダー大王最果ての都アレキサンドリア・エスターハがあります。バザールは中央アジアの他の国同様露店を中心とした市で活気があります。ここから南のイスタラフシャンに向かいました。

ここにはソグド人の遺跡ムグ・テバがあります。ちなみに今回の旅行は外周を一周しまし



ホジャンドのバザール



涅槃佛

たので四輪駆動車によりました。観光が許可されたのは最近で観光産業が未発達のため現地ツアーなどというものはありません。また未舗装の悪路が多いため四駆が必須です。そんな事情ですので日本語ができるガイドもいません。次の日は歴史の街ペンジケントに足を向けました。ここからウズベキスタンのサマルカンドはすぐ近くですが、私が行ったときは閉鎖されており入出国は出来ないとのことでした。



ペンジケントへの山岳路



ムグ・テバソグド遺跡

このペンジケントは5世紀から8世紀ころはソグド人の街でしたがその後放置されています。次の日はイラン支援の5Kmのトンネルをこえてドウシャンベへ向かいましたがこのトンネルは劣化が激しく、道は凸凹、水漏れしっかりで日本では間違いなく通行止めでしょう。タジキスタンは山岳国ですがトンネルはここともう一本中国支援のもの(5Km)の二本のみです。

首都ドウシャンベはせいぜい3~4階建てまでで緑のとても多い都市です。規模からいえば高松市のほうがより都市らしいと感じます。商店が並んでいるわけでもなく静かな街といえます。逆に言えばお土産を買うような場所は一切ありません。

土産そのものがないのです。

この博物館には仏教の西側伝搬の限界点を感じるアジナ・テパから出土した涅槃仏像があります。翌日はアフガニスタン国境のパンジ川沿いにパミールに向かいました。パンジ河は急流ですが川幅はそんなに無くアフガンの村が手に取るように見えます。国境はこの自然の川のみで柵などはありません。この川沿いにパミールに向かって5日間ほど走ります。村々は小さく、道は悪路で土煙を立てて走りました。対岸のアフガンは車の通れるような道はなく、タジク同様小さな村が点在しています。時々アフガンの女性を見かけましたが服装は宗教に厳格でタジク側の(ソビエトの影響を受けた)女性の服装とは大違いです。タジクの各村々の宿泊はゲストハウス並みで日本の民宿でのザコ寝を想像していただければ間違いありません。必要な食料はあらかじめ現地ガイドが調達したものを調理していましたが毎回の人参サラダにはさすがに参ってしまいました。人々は穏やかに現地の踊りなども披露してくれました。何も無い村ですが、人情味にあふれ気持ちの良い旅が続けられました。



ヤン村の人々と



アフガンの女性たち

アフガン国境の村はカライクム、ホルグ(州都)、ガラム・チャシュマ(温泉浴ができます)、イシュカシム、ヤン村、ランガールなどワハン回廊の小さな村々を経由していきます。対岸にはヒンドウクシュの山々、反対側にはパミールの山々が展望でき、小さな遺跡も多々あります。この5日間でアフガンにわたる橋は2か所ありましたが警備兵の姿などは一切見ることはありませんでした。そのうち一つは橋の真ん中が交易所になっており交易できるのですが残念ながら通過したときは交易のない日でした。

この地域の人々の暮らしは農牧畜によっています。日本と比べると圧倒的に貧しく質素ですが親切でやさしく協力して生活している様子がうかがえました。大正・昭和初期の農村原風景のような感じを受けました。子供たちの笑顔も素敵で家事もよく手伝っていました。

物資の流通は中国にかなり頼っています。狭い未舗装の悪路を中国のトラックがけっこうはしっ

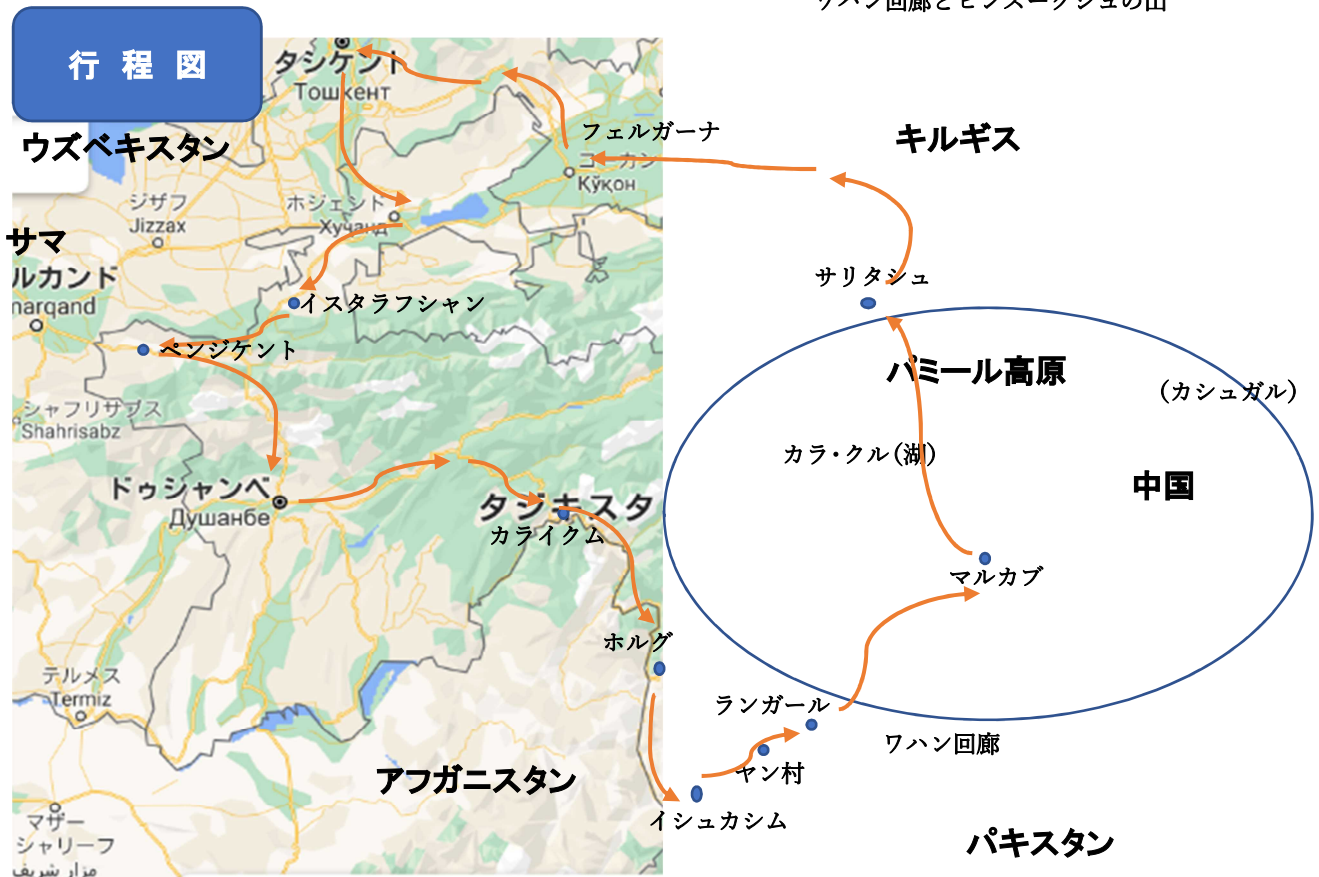
ていました。中国のカシュガルからキルギスを越えてきているようです。

パミール川とワハン川が合流するランガールの村(標高2810m)からは一路パミール川に沿って高原に向かって進路をかえます。人家が少なく、電気のインフラも不十分なこの村では夜は満天の星です。星ってこんなに沢山あるのかと今まで見たこともない夜空でした。

今回はここまでにします。次回はパミール越え、キルギスの街、フェルガーナを紹介します。



ワハン回廊とヒンズークシュの山





会員皆様の近況です



(敬称略)

(書面総会時の返信葉書、返信メールから掲載しています)

稲元 きよみ	今回、心理と教育コースを卒業し、社会と産業に入学しました。
奥谷 義典	蟬の幼虫のような毎日ですが健康に気を付けて毎日過ごしています。早く飛び立てればと待ち望んでいます。
岡市 友利	91歳になりましたが、週3回ディーケアサービスに通っており、元気でおります。
岡部 元一	コロナ禍の影響で生活環境が大きく変化しました。単位認定試験は自宅受験、総会等は書面表決による等、旅行や会合、食事会などの自粛等々で経済活動が縮小されています。これらに負けずに頑張っていきたいと思います。
下司 朝美	昨年に引き続きコロナ禍で在宅勤務が続いております。以前のように外出もままならなくなりましたが、自分の時間を楽しんでいます。
河田 正	週2回香川学習センターへ通っていましたが、今は自宅でPCに向かい合っています。
岩田 生男	特に変わったこともなくすごしています。
菊地 澄子	コロナ感染広がりを見せていますが「3年は辛抱」と思いながらワクチン、なぜ日本で開発を急がないのか、その為の援助費、政府が惜しまないようにしたらいいと思う毎日です。
吉井 嘉壽憲	介護で忙しいです。
久保 佳枝	おかげさまで元気に過ごしております。同窓会報もいつもありがとうございます。お世話になります。よろしくお願いいたします。
宮地 豊二	趣味の写真を再開。花や昆虫の接写を楽しんでいます。
宮北 薫	コロナ、コロナと何かと大変ですが、マスク、手指の消毒、換気に気を付けて過ごしています。学習センターにも毎日通っています。スカイプを活用して、サークル活動をしたり、ズームで遠隔地からの講座を受けたりしています。
橋田 英明	体力アップのため、毎日有明浜を散歩しています。今が一番良い季節です。
玉川 蓮江	役員の皆様、お世話いただきありがとうございます。体力が以前より無くなりあまり参加できませんが、また参加したいと思えます。
熊野 収	ふる里探訪とか里山登山を時々しております。また、図書館で本を借りて週2冊程度読んでおります。
後藤 信義	「健康第一」を目標に、毎朝のラジオ体操、早朝の散歩・ジョギング(60分、2~3回/週)を続けています。
後藤 敏明	再入学しました。年と共に記憶力減退、卒業までボケないと助かります。頑張ります。
高橋 房子	(返信用ハガキが同封されていなかった) 各議案は、同意賛成いたします。(葉書)
佐々木 洋子	昨年度、講演会の後に皆さんと交流を持つことができ、有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
佐藤 隆	毎日仕事に追われています。
佐藤 明子	まだまだコロナに振り回されそうです。役員の皆様に感謝。
崎川 卓代	仕事柄、コロナ禍の出口の見えないなか仕事に邁進しております。
山田 勲	とにかく一学期、レポート(中間指導等)に困惑しています。Webの手元パソコンを先生に買い換える事を勧められました。一通習っていますがかなり忘れて困っています。
山白 清彦	いつもお世話になります。4月から、院選科生になります。よろしくお願いいたします。
松井 政行	皆様お元気ですか。おかげさまで、忙しく毎日過ごしています。
松本 正	今学期より、5コース目にチャレンジしています。(愛媛学習センター)
上枝 志鶴代	いつもお世話になります。コロナ禍の中で大変でしょうがよろしくお願い申し上げます。籠もる日々ですが、ストレスをためないよう気をつけています。
城下 利香	若いうちは興味がなかった香川の歴史(太古~現在)について史跡を実際にみる中で、勉強したくなっている今日この頃です。
神野 義久	お世話になっております。講演会等楽しみにしています。3月下旬にひざを痛め杖の助けを借りるようになりました。専科生として再入学し、あと1年頑張りたいと思えます。
新田 善一	コロナ騒動で親爺・おばはんバンド活動は自粛中！ワクチン打つのは気が進まずためらっています。
森井 幸	本当に在学中は大変なこともありました。現在の生活に大いに役立っており、高齢者の仲間入りしても元気で生活しています。有り難うございます。





会員皆様の近況です



(敬称略)

(書面総会時の返信葉書、返信メールから掲載しています)

杉田 榮子	ここ2年間程いろいろなことが重なり、学習センターに足が遠のいています。少し収まってきたら出向きます。役員の皆様、お役目有難うございます。よろしくお願いします。
西原 由紀子	同窓会の健全な企画を楽しみにしております。
西山 典佑	窓から讃岐富士を眺めながら放送大学に思いを寄せています。多くのお知り合いと再会できる日が楽しみです。
西尾 ミリ	テレビ体操や歩くことなどしながら、お掃除、片付け、整理などしています。
西内 尚子	元気で仕事しています。医療従事者ですが、新型コロナパンデミック！！こんな事態になろうとは想像だにしませんでした。皆さまお身体に気をつけて頑張ってください。私も気をつけてもう少し頑張ります。
石川 道子	新型コロナウイルスの影響で、毎日自宅でどこにも行かないで生活しています。この際何か勉強しようと思いますので、少し心がワクワクします。
植松 隆郎	コロナに気をつけてます。
倉増 恵子	京都に帰って4年になります。コロナが終息して、早く香川に遊びに行きたいです。
早瀬 英克	昨年9月に卒業し、同窓会会員とさせていただきましたが、再入学に、生涯学習を目指して、ポチポチと歩んでいこうとしています。
大森 茂	新型コロナの影響で家に籠り、地図を広げ時刻表と鉄道雑誌で列車旅の気分を味わっています。
大塚 俊浩	現在学び初めてから14年目ですが、今年9月26日卒業予定です。今はパートで働いていますが来年は仕事を辞め若いとき取り組んでいた陸上競技でもやってみようかと思っています。
中務 麻裡子	新型コロナウイルスの影響で、外出や買い物そして旅行の機会がすっかり減ってしまいました。家にいる時間が増えた分、家庭菜園と自宅でぬか漬けを始めました。
田淵かおり子	最近パズルにはまっています。学習センターにはなかなかいけないけれど、5月からの心理学と微生物のゼミを楽しみにしています。サークルなどで人に会いたいですけれどまだ無理なのでしょうか。
藤井 康雄	同窓会活動ありがとうございます。
藤岡 弘	ワクチン接種はどうしたものかと考えたりしています。有難うございました。
堂下 友美	今年からお世話になります。よろしくお願いします。
福井 恒博	元気で楽しく生活しています。同窓会役員の皆様には、大変なお仕事を引き受けていただき有難うございます。どうか健康第一でお過ごしください。地区交流会については、遠くて参加できませんが応援しております。(愛媛県伊予市在住)
芳地 スエ子	コロナ禍の中役員の方々には、大変お世話になります。ご案内いただいても参加することができないので退会したいので名簿より削除をお願いします。
北村 竹美	いつもお世話になりありがとうございます。
北野 芙美子	今年81歳になります。毎日のんびりと過ごしています。
堀家 経雄	特に変わりはありません。それにしてもコロナは長いですね。放送大学にもいろいろと影響が出ていますが、とにかく早く収束してほしいものです。
堀尾 清	外出もままならぬ状況下で、家庭菜園、趣味に時間を割くことが多くなりました。
名古屋 孝子	地区交流会参加したいが、コロナが不安です。
木村 昭仁	東京のコロナ禍はニュースの通り深刻です。文京学習センターは、予約して視聴覚室の利用は可能ですが非常事態が継続しています。私は今のところ感染していませんが感染した場合、重症化するリスクが非常に高いので気をつけています。
寶田 洋子	皆さんお元気ですか。マスクと目をシルエットの感じで挨拶を交わします。時々間違えたりして…。一日も早くマスクなしでお話できる日が来るといいですね。普通のこと待ち遠しく感じます。お互いに頑張りましょう。
横井 若子	東かがわ地域支援包括センターにて、介護支援専門員として勤務しております。働けることの喜びを感じております。
福岡 章子	高齢者ワクチンを2回目5/13に受ける予定です。終息される日を心より待っています。役員の皆様にお世話になります。




同窓会から「お知らせ」と「お願い」です。

アカデミック ガウン撮影会 のご案内	ご卒業記念として、アカデミックガウン（学習センターから借用）を着用して、学位記、校旗・お花を背景に撮影致します。既卒の方は、学位記を、持参・または学習センターからお借りすることもできます。（なお、ご自身のデジカメ・スマホもできます）
	一学期は9月26日、二学期は3月28日の卒業式典のあと、ご希望の方を対象に実施いたします。すでに卒業なさいました方々も是非お申し込みください。（下記記念写真をご参照下さい）
	お申し込みは、2月・8月末までに、同窓会事務局（葉書もしくはメール）、学習センター事務室へお申し込み下さい。別途詳細をご案内申し上げます。
同窓会名簿の 発行	毎年4月の総会時に発行しています。（現在51名の方が掲載されています）
	掲載発行にご同意を頂いた方限定です。お名前・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス等掲載項目は自由です。（掲載発行にご同意され、同窓会名簿をご希望の方、掲載内容に変更が生じた方は、葉書で事務局へお知らせ下さい）
地区交流会参加の ご依頼	県内4ヶ所（観音寺、丸亀、高松、東かがわ）において実施します。（2021年度活動予定表をご覧ください）
	今年度は、新たに「タブレット講習会」を10月以降県内4ヶ所（東かがわ、高松、丸亀、観音寺）で実施の予定です。詳細なご案内は、学習センター主催「公開講演会」及び香川同窓会ホームページでいたします。
	① 開催地域在住の会員・在学生との交流、並びに会員・在学生のお力添えを頂き、一般市民の方々に「放送大学の魅力」を発信して、我々の仲間を増やしていこうとするものです。
	② 「タブレット講習会」は情報通信端末の操作に慣れて頂き、インターネットにアクセス、その情報を活用することができるようになっていただくことを目標にしています。
	知人ご友人などお誘い合わせの上ご参加くださいますように、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。
「放送大学への いざない」 小冊子の紹介	同窓会で作成した小冊子（A-5 16ページ カラー）です。放送大学、香川学習センター、香川同窓会、ほうゆう会を分かりやすく紹介したものです。公開講演会、地区交流会にて配布、学習センター学生向け掲示板（7階）前にもございます。私たちの新しい仲間作りにご活用下さい。（ご請求は事務局まで）
電子メール利 活用のお勧め	同窓会からのご連絡、会報等のご送付を「郵送」から「電子メール」による送信に切り替えのお願いです。電子メールの利活用が可能な環境にあり、ご同意を頂いた方へです（ご連絡事項の迅速化、郵送等にかかる経費の低減等）会報は印刷コストの関係で郵送用（モノクロ）、電子メール添付用（カラー PDF形式）です。郵送された会報受領の方で、カラー版（PDF形式）のデータ受信可能な方は、事務局までご連絡ください。後日電子メールに添付送信させていただきます。（現在電子メールをご利用の方は42名です）
香川同窓会 ホームページ	パソコン、スマートフォンでご覧いただけます。
	お知らせ（各種行事案内・ご報告など）や参加申込みもできます。 ＜URL＞ http://kagawa.ouj-dosokai.net
香川同窓会 「メールアドレス」	同窓会（事務局）へのお問い合わせ、ご意見、会報への投稿などご利用ください。
	メール受信機（パソコン）は、常時香川学習センター内にありますのでお問い合わせ等につきましては、お返事が遅くなることがありますのでご了承願います。 kd.setonokaze@gmail.com



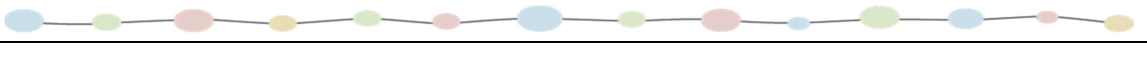
（ご参考 : 卒業記念写真）

放送大学香川同窓会



令和2年度 香川同窓会へ入会されました方々をご紹介します。

川田 洋子様 小林 知加枝様 田淵 かおり子様 堂下 知美様 名古 孝子様
早瀬 英克様 前川 今日子様 松原 泰子様 室崎 若子様
ご入会有り難うございました。



令和3年度 放送大学香川同窓会役員は次の通りです

会員皆様のご協力をお願いいたします。

会 長	藤本 芙佐子	副会長	岡部 元一、宮北 薫（事務局長兼務）
事務局	後藤 信義、奥谷 義典	会 計	寶田 洋子、高木 久江
監 査	篠原 育子、松井 政行	理 事	山田 勲、関 義久、渡辺 義雄 植松 隆郎、宮地 豊二
顧 問	有馬センター長、大平前センター長、山崎元センター長、高尾元センター長 岡市元センター長		
相談役	八畠 好市朗、大北 穆		

！！ つなごう、広げよう、同窓会の輪 ！！

同窓会活動へのご要望やご意見及び会報の原稿・お便り・写真等をお寄せください。

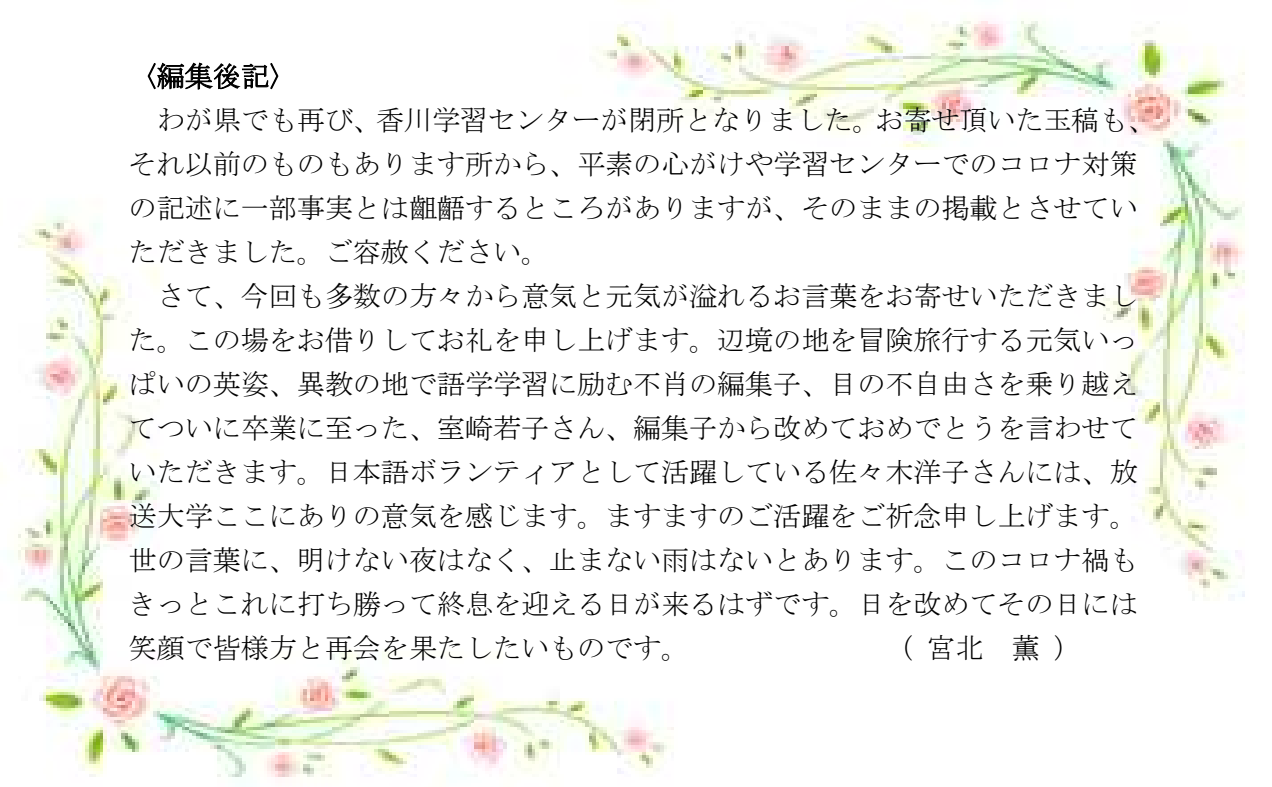
（テーマ） 自由（未発表のもの）

（文字数） 600字（A4-1枚）程度以内。

（締切り） 随時受付しております。

（宛 先） 〒760-0016 高松市幸町 1-1（香川大学内）放送大学香川学習センター気付
香川同窓会事務局宛て<Eメールアドレス> Kd.setonokaze@gmail.com

〈編集後記〉



わが県でも再び、香川学習センターが閉所となりました。お寄せ頂いた玉稿も、それ以前のものもあります所から、平素の心がけや学習センターでのコロナ対策の記述に一部事実とは齟齬するところがありますが、そのままの掲載とさせていただきます。ご容赦ください。

さて、今回も多数の方々から意気と元気が溢れるお言葉をお寄せいただきました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。辺境の地を冒険旅行する元気いっぱい英姿、異教の地で語学学習に励む不肖の編集子、目の不自由さを乗り越えてついに卒業に至った、室崎若子さん、編集子から改めておめでとうを言わせていただきます。日本語ボランティアとして活躍している佐々木洋子さんには、放送大学ここにありの意気を感じます。ますますのご活躍をご祈念申し上げます。世の言葉に、明けない夜はなく、止まない雨はないとあります。このコロナ禍もきっとこれに打ち勝って終息を迎える日が来るはず。日を改めてその日には笑顔で皆様方と再会を果たしたいものです。

（宮北 薫）